

授業科目(ナンバリング)	中国語ⅡA (AC203)			担当教員	※楊 雯瀾		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
中国語は中国だけでなく、シンガポールやマレーシアなどの国々でも幅広く使用されており、さらに近年中国のめざましい経済発展のため、アジアの世界だと言われている 21 世紀の現在、世界中に中国語の学習者が多くいる。中国語学習は大きな世界へ繋がるツールを手に入れることだと言えよう。本授業は「中国語Ⅰ」に引き続き、中国語初級レベルの基礎知識・実用表現を確実に身につけ、中国語能力検定試験(HSK)1 級の取得にチャレンジすること、また中国・アジアへの理解を深めることを目標とする。							①②③ ⑧⑥⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピンインを正しく「読む・書く・話す・聞く」ことができる。</li> <li>中国語の簡単な単語とフレーズを理解、使用することができる。</li> <li>中国語能力検定試験(HSK)1 級に合格できる。</li> </ul>				・定期試験	10%	
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国(語)に関連する情報の収集に積極的に取り組むことができる。</li> <li>様々な情報収集ツール(辞書、ネット等)を活用することができる。</li> <li>多角度から情報を理解、分析、解釈することができる。</li> </ul>				・課題レポート	10%	
コミュニケーション力	中国語でコミュニケーションをとることができる。				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・発表</li> </ul>	20% 15%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の様々な活動に積極的に参加することができる。</li> <li>・中国(語)への理解を深めるために、他人(教師や学生同士など)と積極的に交流することができる。</li> </ul>				・授業態度・授業への参加度	15%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語：日中両言語の異同を少しでも理解することができる。</li> <li>・非言語：漢語圏の社会、文化に関心を持ち、多様性に対する理解を深めることができる。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・課題レポート</li> </ul>	20% 10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験の成績を 50%とし、筆記試験で既習した知識の習得状況を確認する。(教科書や資料などの持ち込み不可)</li> <li>・課題レポートの成績を 20%とし、文法の正確さ及び内容の豊富さで評価する。(1 回、宿題として出す)</li> <li>・発表の成績を 15%とし、発表の内容と討論への参加度合で評価する。(第 7 回目の授業で行う)</li> <li>・授業態度及び授業への参加度の成績を 15%とし、遅刻欠席回数や授業への参加度合などを基準に評価する。</li> </ul> ※ レポート、発表、口頭練習などに対するフィードバックを授業で行う。							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料：教科書を基本資料とし、パワーポイント(プリントの時もある)を補助資料として授業を行う。</li> <li>・進め方：「復習&gt;単語&gt;文法解説・練習&gt;練習問題&gt;答疑&gt;次回の案内」の流れに従う。(変わる時もある)</li> <li>・目標：①ピンインを身につける ②HSK1 級の基礎知識を習得する ③中国の社会文化について理解が深まる</li> <li>・この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。</li> </ul>							
教科書・参考書							
教科書：宮岸雄介(2017).『中国語検定 HSK 公認テキスト 1 級 改訂版』株式会社スプリックス。 参考書：杉野元子・黄漢青(2010).『大学生のための初級中国語 40 回』白帝社。 指定図書：宮岸雄介(2017).『中国語検定 HSK 公認テキスト 1 級 改訂版』株式会社スプリックス。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習と復習をすること(毎回授業後の復習をしっかりすれば、言語学習は楽になる)</li> <li>・毎回の授業、必ず教科書と好奇心を持って積極的にご参加ください。</li> <li>・教科書以外の資料も活用すること(例:映画、歌、NHK テレビ・ラジオ番組 など)</li> <li>・毎日 10 分間でも中国語に触れてください。(例:寝る前に 5 つの単語を暗記する、30 分間発音練習をする)</li> </ul>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	UNIT 1	中国語とは？(簡体字・繁体字、ピンイン、声調)； シラバスの説明	予習：教科書 pp. 20～23 ； シラバスの確認
2	UNIT 2	発音編 1 ・ 母音	予習：教科書 pp. 24～27 復習：声調
3	UNIT 3	発音編 2 ・ 子音；実践問題 PART 1	予習：教科書 pp. 28～30 復習：単母音、二重母音、 三重母音、鼻母音
4	UNIT 4	動詞述語文 1	予習：教科書 pp. 38～41 復習：子音；音節表
5	UNIT 5	動詞述語文 2	予習：教科書 pp. 44～47 復習：「是」の用法、人称 代詞、指示代詞
6	UNIT 6	形容詞述語文	予習：教科書 pp. 50～53 復習：中国語の語順
7	発表	日中両言語の類似点と相違点	予習：発表の準備 復習：UNIT1～6 の内容
8	UNIT 7	名詞述語文；数字と時間の表現	予習：教科書 pp. 64～67 復習：「很」「太」の用法
9	UNIT 8	数詞と量詞	予習：教科書 pp. 70～73 復習：名詞述語文の用法； 数字と時間の表現
10	UNIT 9	疑問代詞を使った疑問文 1	予習：教科書 pp. 76～79 復習：代表的な数詞・量詞
11	UNIT 1 0	疑問代詞を使った疑問文 2	予習：教科書 pp. 82～85 復習：疑問文(数を尋ねる)
12	UNIT 1 1	中国語の助動詞：能願動詞	予習：教科書 pp. 88～91 復習：疑問文(疑問代詞)
13	UNIT 1 2	動詞述語文 3	予習：教科書 pp. 102～105 復習：能願動詞 ☆課題レポート
14	UNIT 1 3 ・ 1 4	存在と場所；「在」の用法	予習：教科書 pp. 108～117 復習：動詞の重ね型
15	まとめ	前期内容の復習(実践問題)； HSK1 級試験の概要と対策の説明	予習：実践問題 (PART 2 ・ 3 ・ 4) 復習：存在と場所 「在」の用法
16	定期試験	筆記試験	定期試験の準備